



広島キワニスクラブ 平成 22 年度事業報告・平成 23 年度事業計画

広島キワニスクラブ平成 22 年度事業報告

国際キワニス日本地区の事業計画に沿った事業について

1. クラブの新設と会員増強

全クラブとも会員純増の目標を定め、会員の維持に力を入れると同時に、新入会員の獲得に努める。クラブ新設を計画しはたらきかける。

1) 既存クラブの会員増強… 25人以上のクラブは5%以上の会員純増を図る。

- 広島クラブは H21.10 の会員数 79 名から 5 名純増を目標としたが未達成
入会 9 名 退会 9 名 (H21.10~H22.9)

(日本地区全体では、H21.9 末の会員数 1,587 名から H22.7 末現在 1,648 名で 4%純増)

2) 新設クラブ計画…クラブ新設は、日本地区として、年間 2 クラブの新設を目標とする。

- 広島クラブ…新設及び新設計画ともになかった
(日本地区全体…新設 1 (千代田)、解散 1 (新宿)。地区全体のクラブ数は 28 のまま)

2. 子ども最優先の奉仕活動の推進

国際キワニスの幼児最優先奉仕の精神にのっとり、キワニスドール普及活動を中心に、子供のための諸活動を推進する。

- 1) キワニスドール^{※①}の更なる普及活動
- 2) キワニスドール寄贈先の小児関係医療機関の開拓
- 3) 児童虐待防止活動への取組み
- 4) 「キワニスワンデー」^{※②} (H22. 4. 10) の実施
- 5) キワニス日本財団 (KJF) ^{※③} の活動に参加

〔※①「キワニスドール」とは、主に病気のこどもたちに贈る手づくりのぬいぐるみ人形のこと。治療の説明や子どもたちの心の癒しのために使用する。〕

※②2007-08 国際会長ネルソン・タッカーが呼びかけて始まったもの。この日、全世界のキワニスクラブ（および関係団体）が、クラブごとに何らかの奉仕活動を行い、これにより地域の人々にキワニスを知ってもらい、全キワニス・ファミリーが意味ある奉仕活動に参加するのを促し、入会見込みのある人々にキワニスの奉仕活動をお見せして、キワニスの活性化を図るという趣旨

※③キワニス日本地区のつくる財団。社会福祉、青少年への奉仕、良き地域社会の形成等の活動や国際社会、日本文化、自然災害等に対する資金援助を目的としている。H21.3 に公益財団法人認定された。

1) キワニスドールの更なる普及活動について

- ドールの作成…120 会員・家族…0 外部ボランティア… 120
- ドールの贈呈… 20 JA 広島総合病院小児科 20
(県立広島病院小児科に贈呈予定だったが H22.10 に延期)

2) 寄贈先の小児関係医療機関の新規開拓について

- 広島市立市民病院小児科…H23 年度に 30 贈呈予定

3) 児童虐待防止活動への取組みについて

- 子どもをテーマとした例会講演実施（第 901 回例会 H21.11.12 「広島県方式 “みんなで子育て応援”（講師：広島県健康福祉局こども家庭課長 棚多里美氏）」）
- 「広島県児童虐待防止 10 万人オレンジリボンキャンペーン」に参加。児童虐待防止月間の 11 月に、家庭や職場でのオレンジリボンの着用やポスターの配布掲示に協力した

4) 「キワニスワンデー」(H22.4.10) の実施

- 適当な企画が出せず実施しなかった

5) キワニス日本財団 (KJF)、国際キワニス財団 (KIF) の活動に参加について

- 国内に対する奉仕活動 (KJF から各クラブの行う奉仕活動への資金助成 30 万円×3 件)
 - ▶ ひろしま FM 放送で「papamama smile club」という子育て応援番組をキワニス日本財団の提供で週 1 回 1 年間放送するための番組企画費・制作費という内容で申請した。結果、選外となり資金助成は得られなかった
- 海外に対する奉仕活動のための寄付
 - ▶ アニュアル・クラブ・ギフト・キャンペーン※④ (@¥2,000-×79=¥158,000-)
(79…会員数 H21.12)

- 災害義捐金への協力
 - ▶ フィリピン台風 (H21.10) ¥18,000 -
 - ▶ ハイチ地震 (H22.1) ¥25,966-
 - ▶ チリ地震 (H22.3) ¥26,600-
 - ▶ パキスタン洪水 (H22.9) ¥76,072-

※④国際キワニス財団 (KIF) が主導する募金活動。クラブがある一定額×会員数の寄付を収める。日本地区ではキワニス日本財団 (KJF) が全 28 クラブの寄付をとりまとめ KIF に送金している。寄付金は世界の子どもたちの必要とする助成金、奨学金、災害救援金等にあてられる。

3. 広島クラブの独自の事業・行事・国際会議参加について

1. 奉仕活動 (前記日本地区の事業計画に沿った活動以外のもの)

1) 第 38 回キワニス社会公益賞 (H22.7.8)

- 3 名の受賞者に 各¥70,000- 計¥210,000-、および賞状の贈呈

2) 留学生日本語スピーチコンテスト in 広島 2010 (H22.7.31)

- 広島県内の留学生を対象に日本語によるスピーチコンテストを実施
最優秀賞 1 名、優秀賞 1 名、佳作賞 3 名、審査委員長特別賞 1 名、努力賞 7 名、参加賞 (全
員)、交通費 (全員) 計¥302,000-相当の賞金と賞品贈呈 (※参加賞は中国電力様様の寄付)

2. 国際会議参加

規約改正等の国際キワニスの方針に関心を持つと同時に、世界各地の奉仕活動を学ぶ等のために、各種の国際会議に積極的に参加する。また地区年次総会にも各クラブの諸活動について情報交換するため積極的に参加する。

1) 国際会議等への参加実績

- ① 第35回ASPAC 台北大会(H22.3.12~14)・・・会員 6 名 (河尻、北野、茂見、神出、徳永、細田)
同行者 2 名
(日本地区全体: 12 クラブ 97 名〔含 家族・スタッフ〕)
第 34 回セブ大会の 6 名以上の会員参加を目標としたが、昨年度と同数の参加となった。

- ② 第 95 回国際年次総会ラスベガス大会(H22.6.24～27)…出席なし
(日本地区全体：6 クラブ 22 名〔含 家族・スタッフ〕)
特に参加人数の目標は立てなかった。
- ③ 第34 回日本地区年次総会京都大会…会員 7 名 (石崎、井上、河尻、小石川、田村、坪井、徳永、)
(H22.9.3) 家族 2 名 (河尻、小石川)
(日本地区全体：27 クラブ 471 名〔含 家族〕)
会員・家族合わせて 14 名以上の参加を目標としたが、第 33 回福岡大会と同数の参加に留まった。

3. クラブ例会・行事

- 例会 23 回実施
 - ▶ 平成 22 年度定時総会 (H21.10.22)
 - ▶ 第 40 回クリスマス家族会 (H21.12.17) (第 23 回留学生日本語作文コンテスト入賞者・家族 7 名招待)
 - ▶ 新年互礼会 (H22.1.14)
 - ▶ 平成 22 年度臨時総会 (H22.7.22)
 - ▶ ジョッキ例会 (H22.8.3)
- 会員交流会「大人の社会見学～ALSOK(株)警送事業部見学会～」(H22.5.16)
- 第 116 回ゴルフ会 (H22.5.22 千代田 OGM ゴルフ倶楽部)

4. 中・四国ディビジョン内の交流行事

- 広島クラブ主催 第 40 回クリスマス家族会 (H21.12.17)
福山クラブ会員 4 名、事務局 1 名出席

5. 国際キワニスアジア太平洋総会 (ASPAC) 広島大会

- 準備委員会委員長に神出亨会員 (中国電力株) 就任決定

6. その他

- 総務委員会 (職掌：クラブの運営方針企画立案) を新たに常設委員会として設置
- 広報活動 (マスコミ等にキワニスクラブ活動を取り上げていただき知名度の向上を図る)
 - ▶ H21.10 キワニスクラブ新体制発表 「広島経済レポート」、「経済レポート」
 - ▶ H22.7 第 38 回キワニス社会公益賞 「広島ホームテレビ」、「中国新聞社」
 - ▶ H22.7 留学生日本語スピーチコンテスト in 広島 2010
「NHK 広島放送局」、「中国新聞社」



広島キワニスクラブ平成 23 年度事業計画

国際キワニス日本地区の事業計画に沿った事業について

1. クラブの新設と会員増強

各クラブとも会員純増の目標を定め、会員維持に努めると共に新しい会員の勧誘に注力する。クラブ新設については、近隣の県庁所在都市などにおける新設計画を進める。なお、女性あるいは主婦中心のクラブなど組織の多様化も視野に入れた新設の方向も検討の必要がある。

1) 会員増強

- H22.10 現在の会員数 79 名から 5 名純増を目標とする

2) 新設クラブ計画、組織の多様化

- なし

2. 国際キワニスとの連携と協力

1) 第二次世界奉仕活動 (Worldwide Service Project) 『破傷風から世界中の母と子を守ろう』への協力

1994 年から展開されたヨード欠乏症 (IDD=Iodine Deficiency Disorders) 撲滅運動に続く世界奉仕活動として、妊産婦・新生児破傷風 (MNT=maternal/neonatal tetanus) ※⁶撲滅運動が本年度から 5 年間にわたり展開される。この運動は IDD 撲滅運動と同様に、ユニセフと提携して行われる。

2015 年までに MNT を地球上から撲滅するために、1 億 2,900 万人の母親と将来出産する赤ちゃん達にワクチンを摂取する必要がある。ワクチンや注射器、それらの安全な保管・輸送システムの開発、技術を持ったスタッフの育成派遣のための資金不足を埋めるため、国際キワニスは今後 5 年間かけて 1 億 1000 万ドルの募金を集める予定である。

- 広島クラブとしても寄付金を募る

(募金は国際キワニス日本地区・キワニス日本財団 (KJF) の指針発表を待ち、具体的内容を把握し検討の上、開始する)

※⑤妊産婦・新生児破傷風（MNT）は、破傷風菌の胞子が出産中切開部に付着することで起こる。多くの国々ではワクチン接種の普及や医療システムの改善により MNT は撲滅されている。現在この病気によって命を落としているのは、主にアフリカ、アジアの、貧困や紛争またはインフラの未整備により医療が行き届かない国や地域に住む若い母親と新生児であり、それらの約 40 ヶ国では 9 分毎に 1 人の割合で、新生児が MNT により死亡している。

2) 国際キワニス年次総会等国際大会への積極的参加

国際キワニスの方針を確認すると同時に世界各地の奉仕活動を学ぶため、各種の国際会議に積極的に参加する。第 38 回 ASPAC 広島大会（H25.3）開催が決定し、広島会員はより一層の大会への参加が求められている。

- ① 第 36 回 A S P A C マラッカ大会(H23.3.10～13)
広島大会の準備のため多くの会員の方に参加して欲しい
- ② 第 96 回国際年次総会ジュネーブ大会(H23.7.7～10)
未定
- ③ 第 35 回日本地区年次総会千葉大会（H23.9.9）
会員・家族合わせて 10 名以上の参加を目指す

3) 国際キワニス財団（KIF）への資金協力

国際キワニス財団（KIF）に対し個人やクラブからの寄付を行う。

3. 子どものための奉仕活動の推進

日本地区全体としては、国際キワニスの「子ども最優先」（Young Children Priority One）の精神に基づき、奉仕内容の充実、参加者の裾野拡大のため以下のような活動を推進する。

1) キワニスドールの更なる普及活動

- ドールの作成…引き続き外部ボランティア（広島県立海田高等学校など）に依頼、ドール贈呈式にボランティア参加してくれた生徒を招待するなどして、交流・相互理解を深めるように努力する

- ドールの贈呈…H22.10以降に、県立広島病院に40個、広島市立広島市民病院小児科に30個贈呈予定。その後は未定

2) 児童虐待防止活動への取組み

- 子どもをテーマとした例会講演の実施
- 例会で子育てサポートやオレンジリボンキャンペーンのリーフレット配布
- オレンジリボンキャンペーン参加（オレンジリボンの着用など）

4. キワニス日本財団（KJF）との連携

以下のような社会奉仕事業を展開する際にKJFと密接な連携をとりつつ、社会貢献、寄付金等拠出の増大を図ると共に会員の税制上の恩典享受を支援する

- ① 国の内外における大規模災害義捐金募集
 - ▶ 例会で募金活動（募金の際には所得控除対象になることを案内する）
 - ▶ 広島または近隣地域で義捐金を要する大規模災害が発生した場合KJFに申請する
- ② 各クラブの行う奉仕活動の必要事業費資金の一部助成
 - ▶ 子どもを中心とした奉仕活動への資金助成申請を目指す

5. 広報活動・事務局機能の強化

キワニスの奉仕活動に対する世間の認識が高まりつつあるが、第二次世界奉仕活動（Worldwide Service Project）『破傷風から世界中の母と子を守ろう』に取り組むに際し、更なる広報活動の強化が要請されている。

- ① ウェブサイトの充実により、一般への効果的な情報提供に努める
- ② ウェブサイトを機動的に活用することによる緊密かつ円滑な事務体制の整備
- ③ 外部の諸団体、企業等との情報交換や協力関係の強化・進化を推進する
- ④ 一般市民への知名度向上のためにはマスコミ報道による広報が有効なので、テレビ局、新聞社所属の会員をはじめ各位に協力を要請する

広島クラブの事業・行事について

1. 奉仕活動（前記日本地区の事業計画に沿った活動以外のもの）

1) 第39回キワニス社会公益賞（H23.7.8）

- 2～3名の受賞者に 計 約¥200,000-、および各々に賞状贈呈（予定）

2) 留学生日本語スピーチコンテスト（日程未定）

- 内容を検討中

2. クラブ例会・行事

- 例会 24回予定

- ▶ 平成23年度定時総会（H22.10.28）
- ▶ 第41回クリスマス家族会（H22.12.16）
- ▶ 新年互礼会（H23.1.13）
- ▶ 平成23年度臨時総会（H23.7.28）
- ▶ ジョッキ例会（H23.8.4）

- 第117回ゴルフ会（未定）
- 第20回会員交流会（未定）

3. 中・四国ディビジョン内の交流行事

- 広島クラブ主催 第41回クリスマス家族会（H22.12.16）

福山クラブ、松江クラブに案内状発送予定

4. 第38回ASPAC（アジア太平洋総会）広島大会（H25.3）について

- 準備委員会委員を決めて、具体的な大会準備に取り掛かる。

平成23年度広島キワニスクラブ役員（平 22.10.1～平 23.9.30）

会 長	坪 井 宏	広島信用金庫 理事長	(新任)
前 会 長	河 尻 清	日の丸産業株式会社 取締役社長	(新任)
副 会 長	神 出 亨	中国電力株式会社 取締役副社長	(再任)
副 会 長	堀 江 規 維	堀江会計事務所 所長	(新任)
副 会 長	吉 村 幸 子	財団法人広島県女性会議 理事長	(新任)
会 計 監 事	山 本 準 治	山本準治公認会計士事務所 所長	(新任)
事 務 局 長	北 野 盛 荘	成長建設株式会社 顧問	(再任)
メンバーシップ委員長	貝 川 健 一	元中電プラント株式会社 顧問	(新任)
社会公益委員長	川 平 伴 勅	株式会社広島銀行 専務取締役	(新任)
事業企画委員長	花 田 龍 夫	広島総合警備保障株式会社 取締役施設管理部長	(新任)
国際委員長	上 田 みどり	広島経済大学 教授	(再任)
広報委員長	澤 井 昇 三	総合エナジー株式会社 代表取締役	(新任)
青少年教育委員長	茂 見 孝 雄	元広島ガスサービス株式会社 取締役会長	(新任)
総務委員長	中 川 日出男	日本赤十字社広島県支部 事務局長	(再任)